



## 2021 RACE REPORT

GAZOO Racing 86/BRZ Race 第2戦

2021年5月8日(土)～9日(日)

富士スピードウェイ(静岡県小山町)

## プロフェッショナルシリーズ

## ■吉田選手は4位で2戦連続の入賞。川合選手は悔しい 14 位■

GAZOO Racing 86/BRZ Race の第2戦が富士スピードウェイで行われました。予選日の天候は曇り。金曜日に行われた専有走行では川合選手が2位、吉田選手が4位のタイムをマーク。開幕戦同様、好調をキープしており、本番での上位入賞に期待が高まります。プロフェッショナルシリーズの予選は15分間。シグナルがグリーンになっても、多くの選手がコースインせず、様子を見ています。吉田、川合両選手もピットロードで待機し、周囲の動向を見極めていきます。残り約5分で吉田選手、川合選手の順にコースイン。前後の車両との間隔を調整しながらタイヤをあたため、2周目にアタックを行います。吉田選手のタイムは2分04秒805、川合選手は2分04秒906で、正式結果はそれぞれ8位と10位。両選手ともに狙い通りのタイミングでアタックできず、非常に悔しそうです。



決勝日の天候も曇り。グリッドに30台のマシンが整列し、10週の決勝レースがスタート。吉田選手が好スタートをきり、イン側をキープしたまま1コーナーに進入します。アウト側が混戦状態のため、5位にジャンプアップ。激しいバトルを展開しながらホームストレートに戻ってきます。3周目、吉田選手は後続に抜かれ6位にダウン。トップから10台ぐらいがほぼ一列でつながり、上位は目まぐるしく順位を入れ替えています。8周目のホームストレートで吉田選手を含む4台が横一列となり、吉田選手はイン側から一気に3台をパス。3位に上がります。表彰台フィニッシュの期待が高まりますが、9周目に後方から追いついてきた#31青木選手に抜かれ、4位でチェッカー。2戦連続の入賞を記録しました。一方、川合選手は1周目に大きく順位を落とし、16位でオープニングラップを終了。集団の中でアクシデントに巻き込まれないよう慎重に走行します。一時は20位まで順位を下げますが、粘り強い走りを見せ、17位でチェッカー。レース後、上位の選手にペナルティが与えられたため、正式結果は14位となりました。



#160  
埼玉トヨペット GB 86 BS  
**吉田 広樹**  
**決勝：4位**  
予選8位(2分04秒805)

■予選後：納得いくアタックができず残念です。ドライバーのミスで、ウォームアップで翻弄され、自分のペースでいけません。開幕戦では、決勝中に飛び出して順位を下げてしまったので、この位置からどこまで追いつかれるかわかりませんが、しっかりと落ち着いて走って、最低限のポイントをとって帰りたいと思っています。

■決勝後：ぶつかることなく帰ってこようと思っていたのですが、簡単にはいかず、挟まれ、押され、よくわからない状況でした。順位は上がったので、悪いレースではないと言いたいのですが、ぼくのまわりは荒れた展開になっていたの、すっきりしないレースでした。フェアなレースをして素直に喜べるようなレースがしたいですね。



#521  
埼玉トヨペット GB 86 BS  
**川合 孝汰**  
**決勝：14位**  
予選10位(2分04秒906)

■予選後：予選結果には全然満足していません。富士はストレートが長いのが特徴で、スリップストリームを効果的に使う上での判断ミスもあり、タイムを上げられませんでした。10番手から追いつかれるポテンシャルはあると思いますし、追いつきたいと思うのですが、前回のもてぎではミスもあったので、今回はミスなく、みなさんに見せるレースをしたいと思っています。

■決勝後：ちゃんとしたレースはもちろんです。それは自分の中で落ち着いて冷静に追いつけるレースになると思います。今回は10番手スタートで、なかなか厳しい戦いだったと思います。次戦、オートポリスでは、予選でもう少し前に行けるように準備したいと思っています。

## 店舗メカニック

山崎城太郎

(レクサスさいたま南店)

初めてレースに参加しました。ついていくことができず、やっと流れをつかんできたところですが、次にどんな作業をしたらいいか、すぐに判断できなかったことがあり、迷惑をかけてしまいました。ジャッキを上げての作業など、店舗での作業とのギャップがあり、難しいところです。店舗に戻ったらよりスピードと正確さを追求していきたいと思っています。

## ■ ■ トップチェッカーを受けるもペナルティが科され21位 ■ ■

開幕戦に引き続き、地頭所（ぢとうしょ）選手がエキスパートに出場。予選日の天候は曇り。地頭所選手は予選開始の合図とともにコースイン。1回目のアタックで2分05秒689をマークし、2位につけます。1回のピットインを挟み、再度アタックを行いますが、1回目のタイムを更新できず。正式結果は2位となりました。

決勝日の天候は曇り。地頭所選手は順当なスタートをきり、2位でオープニングラップを終了。1位の#556 呉選手から3位の#38 神谷選手との差は1秒以下で、

激しいレースになりそうな展開です。4周目、#556 呉選手と地頭所選手が接近。#556 呉選手のインを狙いますが、ディフェンスに遭い、前に出ることができません。順位は変わらないままレースは後半戦へ。7周目のコカコーラコーナーで地頭所選手が#556 呉選手のインを奪いパス。2台のバトルは熾烈を極めており、翌周には#556 呉選手が同じ場所で地頭所選手のインを奪い返します。1位の#556 呉選手から4位の選手まで一列でつながっており、1つのミスで大きく順位を落としてしまう状況。このままの順位でチェッカーと思われましたが、地頭所選手がファイナルラップの最終コーナーで、#556 呉選手のインを奪いますが、わずかに接触。地頭所選手がトップに立ちそのままチェッカー。しかしレース後、最終コーナーでの接触が危険行為と判定され、地頭所選手に対し決勝結果に30秒加算のペナルティが科されました。正式結果は無念の21位。ノーポイントに終わった地頭所選手ですが、次戦オートポリスでのクリーンなバトルを誓いました。



#522 GB CAMP 86  
**地頭所 光**  
**決勝：21位**  
予選2位 (2分05秒689)

■ 予選後  
トップを狙っていたので本当に悔しいです。昨日の専有走行もトップで、調子は良かったのですが、予選でブレーキのフィーリングが変わっていて、その修正ができずに沈んでしまいました。でも、ロングでのペースは結構速いと思うので、スタートを決めて、そのまま1位でゴールしたいと思っています。2連勝だけを狙っています。

■ 決勝後  
結果からいうとトップチェッカーを受けることができたのですが、その後、30秒のペナルティが加算され、正式結果は21位となりました。最終ラップの最終コーナーで、トップの選手のインをさしたのですが、自分のリアが流れすぎたため、止まり切れずにフェンダーとフェンダーが当たってしまいました。絶対ぶつかってはいけないので、次戦はクリーンに戦いたいです。

### PARTNERS



株式会社アイ・ディ・アイ



EMG ルブリカント合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼群スリーボンド株式会社

埼玉トヨペットホールディングス株式会社



株式会社テレビ埼玉



株式会社デンソーソリューション

UNDER ARMOUR®

株式会社ドーム

トヨタ モビリティパーツ株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社

ハッピーライフ彩生

株式会社ハッピーライフ彩生

BRIDGESTONE

株式会社ブリヂストン

丸和工業

丸和工業株式会社



株式会社リビコー



レカロ株式会社